



# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和5年度 健幸のまちづくり拠点施設整備事業 地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	BorNo. 2	調査位置	宮崎県小林市大字南西方2085番地（小林総合運動公園内）			北緯	31° 59' 56.6889"		
発注機関	宮崎県小林市 経済建設部 建設課			調査期間	2023年 6月 6日 ~ 2023年 6月 14日			東経	130° 57' 5.0550"
調査業者名	フェニックスコンサルタント株式会社 電話 0985-39-2914	主任技師	佐藤 貴彦 地質調査技師 登録番号: 第17751号	現場代理人	佐藤 貴彦 地質調査技師 登録番号: 第17751号	コピ定者	佐藤 貴彦 地質調査技師 登録番号: 第17751号	ボーリング責任者	下村 拓哉 地質調査技師 登録番号: 第16280号
孔口標高	T. P. 273.31m	角			方位			使用機種	東邦地下工機製 D-0
総削孔長	28.00m	度			エンジン	ヤンマー製 NFAD8-K		ポンプ	丸山製作所製 MS410

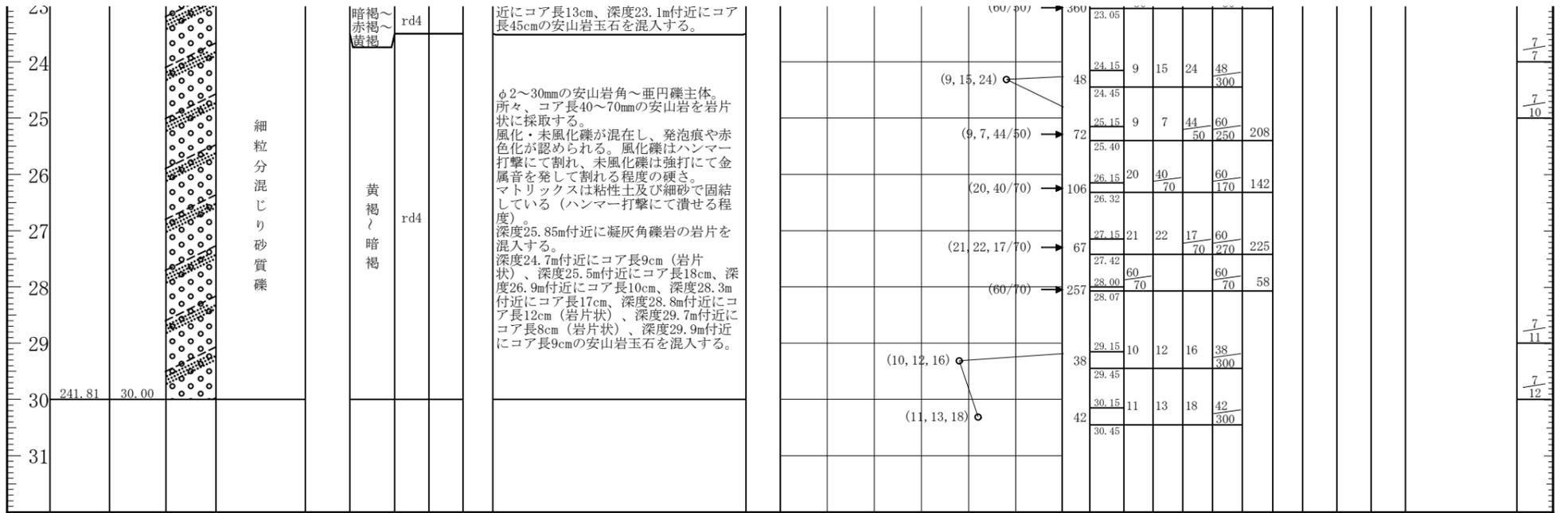
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日					
												深度 - N値図		N	深	100mmごとの打撃回数				打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	試料番号
1	273.01	0.30	砂質礫	礫混じり粘性土	暗灰	rd3			rc1	表土 (舗装残留物)		0	1	1	1	2	300							
2										含水大、粘性大の粘性土主体。所々安山岩礫を混入する。深度1.45~1.67m間は、火山灰及びφ2~10mmの火山礫・安山岩亜角礫が密集する。深度1.7~2.0m間は、火山ガラスを混入する。深度2.45~2.7m間は、風化亜円礫を混入する。深度2.7~3.0m間は、亜円礫の混入多い。		1	1	1	2	300								
3	270.31	3.00	細粒分質礫質砂	細粒分質礫質砂	火山灰質砂	rd3				細~中砂主体。火山灰質粘性土を含有する。φ10mm以下の安山岩亜角~亜円礫を混入する。最大径25mm。深度3.7~3.8m間は、礫の混入少ない。		2	2	3	7	300	3.15	2-P3	○	密度、含水、粒度		6/6		
4												3	3	4	10	300								
5	268.31	5.00	礫混じり粘性土	礫混じり粘性土	褐				rc4	含水小、粘性小の粘性土主体。全体にφ2~20mmの亜角~亜円礫を混入する。礫の多くは風化して軟質。深度6.0~6.45m間は、φ20~40mmの風化安山岩礫の混入多い。		4	4	6	19	300								
6												5	5	7	17	300								
7	265.41	7.90	細粒分質砂質礫	細粒分質砂質礫	火山灰質砂質礫	rd3				φ10mm以下の安山岩亜角~亜円礫主体。礫はハンマー打撃にて容易に割れる程度の硬さ。マトリックスは粘性土及び粗砂。所々、ロームを含有する。深度13.7~14.0m間、礫の混入少なくローム主体。		6	6	5	16	300								
8												7	7	8	24	300								
9												8	8	9	24	300								
10	259.31	14.00	細粒分混じり砂質礫	細粒分混じり砂質礫	暗灰	rd4				φ10mm以下の安山岩亜角~亜円礫主体。最大径40mm。礫はハンマー打撃にて割れる程度の硬さ。マトリックスは粘性土及び粒度分布の良い砂 (火山灰質)。深度15.9~17.0m間は、粒径1mm程の均一な粗砂で礫の混入少ない。深度19.9m付近、黄褐色のロームを挟む。		9	9	10	28	300								
11												10	10	12	33	300								
12												11	11	13	34	300								
13												12	12	13	36	300								
14	252.86	20.45	玉石混じり砂質礫	玉石混じり砂質礫	褐	rd4				φ5~50mmの安山岩角~亜円礫主体。最大65mmの短柱状コアとして採取する。全体にコア長8cm~16cmの玉石を混入する。マトリックスは粘性土及び砂で、黄褐色の火山灰質粘性土と赤色化した火山灰が混在する。風化・未風化・赤色化礫が混在し、風		13	13	10	34	300	14.15	2-P9	○	密度、含水、粒度		6/7		
15												14	14	15	37	300								
16												15	15	16	40	300								
17												16	16	17	44	300								
18												17	17	18	48	300								
19												18	18	20	60	300								
20												19	19	24	60	300								
21												20	20	24	60	300								
22												21	21	25	60	300								
23												22	22	25	60	300								
24												23	23	25	60	300								



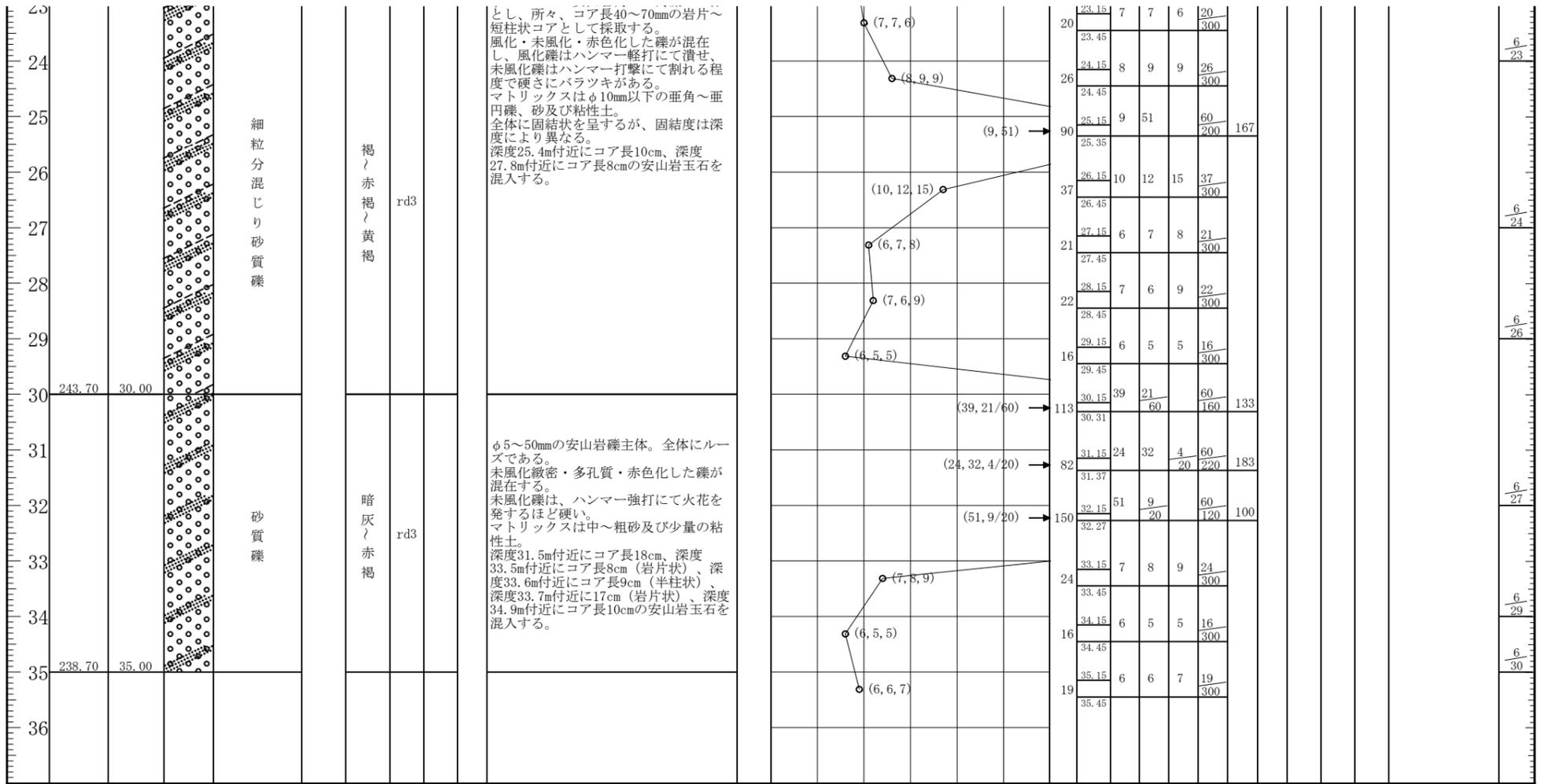












# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和5年度 健幸のまちづくり拠点施設整備事業 地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	BorNo. 6	調査位置	宮崎県小林市大字南西方2085番地（小林総合運動公園内）			北緯	31° 59' 57.8601"		
発注機関	宮崎県小林市 経済建設部 建設課			調査期間	2023年 6月 13日 ~ 2023年 6月 21日			東経	130° 57' 4.5830"
調査業者名	フェニックスコンサルタント株式会社 電話 0985-39-2914	主任技師	佐藤 貴彦 地質調査技師 登録番号: 第17751号	現場代理人	佐藤 貴彦 地質調査技師 登録番号: 第17751号	コピア鑑定者	佐藤 貴彦 地質調査技師 登録番号: 第17751号	ボーリング責任者	東元 忠友 地質調査技師 登録番号: 第14589号
孔口標高	T. P. 273.13m	角			方位			使用機種	扶桑工業製KR-100HB-1
総削孔長	23.00m	度			地盤勾配			エンジン	ヤンマー製 TF90V-E
								ポンプ	丸山製作所製 MLSE30

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記号	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日			
												深度 - N値図		N	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量				50回の貫入量	自沈時の貫入量	深
1	273.03	0.10	細粒分混じり砂	礫混じり粘性土	rd2	灰褐色		rc4		表土	06/20 16.90	3	2	3	8	300			6/13			
2										含水小、粘性小の粘性土主体。全体にφ10~20mmの亜角礫を混入する。深度1.75m以深、軟質化した黄褐色の安山岩礫を混入する。深度1.7~2.45m、深度2.7~23.85m間は、半固結状を呈する。深度4.0~5.0m間は、礫の混入少なくなる。深度1.6m付近にコア長10cm、深度3.12mにコア長14cmの安山岩玉石を混入する。		5	4	5	14	300			6/14			
3												50	10	60	110	92						
4												8	5	4	17	300						
5	268.13	5.00	細粒分混じり砂質礫	細粒分混じり砂質礫	rd3	黄褐色		rd3		安山岩礫主体。礫形状・大き共に多様で、角~亜円形の細礫~粗礫が分布する。礫はハンマー軽打にて割れる程度の硬さ。マトリックスは砂及び粘性土。全体に風化して褐色化しているが、原岩色をとどめた安山岩礫や赤色化、多孔質な礫が混在する。所々、軟質化した黄褐色の安山岩礫を混入する。深度8.6~8.9m間は、安山岩岩片を混入する固結状の火山灰。深度9.0~10.0m間は、礫の混入少なくなり粘性土の含有多くなる。深度8.5m付近にコア長22cm、深度9.7m付近にコア長8cmの安山岩玉石を混入する。		8	6	7	21	300						6/15
6												8	6	7	21	300						
7												21	13	17	51	294						
8												12	21	27	60	270	225					
9												7	6	5	18	300						
10	263.13	10.00	砂質礫	砂質礫	rd3	暗灰褐色		rd3		φ10~50mmの多孔質な安山岩亜角礫主体。礫はハンマー打撃にて割れる程度の硬さ。マトリックスは砂及び少量の粘性土。深度10.7m付近にコア長8cm、深度10.9m付近にコア長8cm、深度12.6m付近にコア長8cmの安山岩玉石を混入する。		7	9	5	21	300				6/16		
11												7	9	5	21	300						
12												7	7	6	20	300						
13												10	9	10	29	300						
14												9	7	5	21	300						
15	258.13	15.00	礫混じり砂	礫混じり砂	rd3	暗灰褐色		rd3		中~粗砂主体。全体にφ10mm程の安山岩亜角礫を混入し、不均質に火山灰質粘性土を含有する。下位ほど礫径大きくなり、最大4cmの片状コアとして採取する。		8	7	7	22	300						
16												5	5	5	15	300						
17												10	13	13	36	300						
18	255.13	18.00	礫混じり砂	礫混じり砂	rd5	褐色		rd5		全体に酸化により赤色化した固結状を呈する粗砂主体。φ10~20mmの安山岩亜角礫を多く混入する。最大40mmの片状コア。深度18.2~18.3m、深度18.8~18.9m間は、固結状の粘性土が分布する。深度20.3m付近にコア長7.5cmの赤色化した安山岩玉石を混入する。		50	10	60	120	100				6/19		
19												60		60	100	83						
20												60	80	60	80	67						
21												60	90	60	90	75						
22												60	70	60	70	58						
23	250.13	23.00										60		60	100	83						

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和5年度 健幸のまちづくり拠点施設整備事業 地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	BorNo. 7	調査位置	宮崎県小林市大字南西方2085番地（小林総合運動公園内）			北緯	31° 59' 56.2253"		
発注機関	宮崎県小林市 経済建設部 建設課			調査期間	2023年 7月 20日 ~ 2023年 7月 28日		東経	130° 57' 3.3241"	
調査業者名	フェニックスコンサルタント株式会社 電話 0985-39-2914	主任技師	佐藤 貴彦 地質調査技師 登録番号: 第17751号	現場代理人	佐藤 貴彦 地質調査技師 登録番号: 第17751号	コピ定者	佐藤 貴彦 地質調査技師 登録番号: 第17751号	ボーリング責任者	川越 幸一郎 地質調査技師 登録番号: 第22878号
孔口標高	T. P. 273.72m	角			方位			使用機種	東邦地下工機製 D0-D
総削孔長	30.00m	度			エンジン	ヤンマー製 TF-90		ポンプ	東邦地下工機製 BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深部試験番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日						
												深度-N値図		N	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量						50回の貫入量					
	273.22	0.50	細粒分礫混じり砂	砂礫混じり砂	暗灰	rd2				表土 細砂主体。φ2~5mmの亜角礫を混入する。	07/26 5.00																
1				砂礫混じり粘性土	暗褐				rc3	含水小、粘性中の粘性土主体。細砂及びφ3~10mmの亜角~亜円形火山礫を混入する。また、指圧にて潰せる亜円形風化礫や風化軽石を混入する。深度3.45~3.6m間は、火山礫・風化軽石が密集する。		(2, 1, 1)	4	1.15	2	1	1	4	300								
2					暗褐								(1, 1, 2)	4	2.15	1	1	2	4	300							
3					褐								(2, 2, 2)	6	3.15	2	2	2	6	300							
4													(1, 1, 2)	4	4.15	1	1	2	4	300							
5	269.12	4.60		細粒分混じり礫質砂	褐				rd3	細砂主体。全体にφ5~10mmの安山岩角~亜円礫を混入する。最大径55mm。礫は多孔質な暗灰・赤褐色のものが多く、ハンマー軽打にて割れる態度の硬さ。		(12, 11, 10)	33	5.15	12	11	10	33	300								
6													(6, 4, 4)	14	6.15	6	4	4	14	300							
7													(5, 5, 4)	14	7.15	5	5	4	14	300							
8													(3, 3, 5)	11	8.15	3	3	5	11	300							
9													(2, 2, 2)	6	9.15	2	2	2	6	300							
10	263.72	10.00											(10, 19, 16)	45	10.15	10	19	16	45	300							
11													(60/10)	1800	10.45	60	10	60	10	8							
12															11.01												
13													(6, 7, 10)	23	12.15	6	7	10	23	300							
14													(10, 11, 12)	33	13.15	10	11	12	33	300							
15													(15, 14, 13)	42	14.15	15	14	13	42	300							
16													(7, 8, 10)	25	15.15	7	8	10	25	300							
17													(8, 8, 8)	24	16.15	8	8	8	24	300							
18													(7, 10, 8)	25	17.15	7	10	8	25	300							
19													(10, 9, 8)	27	18.15	10	9	8	27	300							
20													(7, 8, 9)	24	19.15	7	8	9	24	300							
21	253.27	20.45		玉石混じり礫質砂	暗灰				rd4	中~粗粒の火山灰質砂主体。やや固結状を呈する。			(14, 7, 7)	28	20.15	14	7	7	28	300							
22													(60/10)	257	21.05	60	10	60	10	58							
23													(13, 10, 11)	34	22.15	13	10	11	34	300							
24													(8, 11, 21)	40	23.15	8	11	21	40	300							

